



子育てしやすい江南区に

健康福祉課児童福祉係
☎025-382-4353

地域で見守り応援事業～見守る目、見守る心～

むかし



親族や地域の協力が得やすかった

いま



頼れる人がちかくにいない…

地域みんなで子育てを応援しませんか？

核家族が主流となり、近所や地域とのつながりが希薄になっている。夫婦共働きの世帯も多く、子育てに対する親の負担感は大きく、孤立感も増していると言われています。

区では、**地域の中で子育てを応援する気持ち＝「見守る目、見守る心」**を広げていくことを目的に「地域で見守り応援事業～見守る目、見守る心～」に取り組んでいます。

<どんな事業なの？>

①「子育て応援団」の募集

地域で子育てを応援していただける人に子育て応援団に登録していただき、子育て応援団バッジをお渡しています

②「子育て交流会」の開催

子育てを応援したい人と子育て世代の人たちの交流会を開催します



子育て応援団バッジ

子育て応援団への申し込み

- ①市ホームページ「かんたん申込み」より申込み → 二次元コード
- ②電話 ☎025-382-4353 ③ファクス025-381-1203
- ④郵送(〒950-0195 江南区役所健康福祉課児童福祉係宛)



昨年の子育て交流会の様子をお伝えします

昨年12月2日、新潟県内の子育て支援の第一人者である新潟県立大学の小池由佳教授を講師に迎えて開催した「きいて きかせて トーク」には、子育て世代8人と地域の人35人に参加いただきました。

交流会ではまず、講師より新潟市が取り組んでいる「スマイルプラス運動」についてお話していただきました。

子育て世代を応援したいという気持ちはあっても、「周りに子どもがいなくて子どものことがよく分からない…」「むやみに声をかけると不審者に思われてしまいそう…」「子育ての仕方が自分たちの時代と違うので嫌がられてしまうのでは…」という思いもあるかもしれません。

このことについて、講師から「それぞれの立場・生活状況の中でできることをしてもらえればよい。子どもや子育て環境を理解してあげることだけでもサポートになる」と話がありました。

スマイルプラス運動とは？

市民・地域・企業が子育て世代に関心を持ち、悩みを理解して、一人一人ができることから行動することで、市全体にスマイルをプラスしていこうという運動です。

具体的には次の3つのステップで子育てをサポートします。

ステップ1 理解する

子どもは泣くのが当たり前！

ステップ2 小さな行動をする

子育てで頑張ってる！何をしてあげられるかな？

ステップ3 提供する

積極的にサポートします！



新潟市子育て応援キャラクター
ほのわちゃん

子連れで行ける場所の情報がない

コロナ禍で、近所の人や孫のように接してくれて嬉しかった

1人で子育てしている感じが辛い！

公園に幼児用便座が欲しい

地域の情報が欲しい
スーパー、遊び場、保育園

パパが仕事が忙しくワンオペで育児寝不足が辛かった

通学路が安全か心配(車・雪道など)

子どもが泣いているとき、好意的な声掛けが嬉しい

ちょっとのんびりお茶を飲んでいる間、子どもをみてくれる人がいたらなあ！

グループトークで 交わされた意見



地域の茶の間などを通じて子ども達との交流の場をつくったらどうか

コミ協・自治会のイベント開催情報を発信する

行政の取り組みに参加し、意見交換しながら一緒に考えていく

子育て世代からも声をかけてもらえたら嬉しい

子育てに関する情報発信が大事！

やさしい笑顔で接したい

できるのは、子育て世代の声を聴いて理解すること

子育て支援センターに地域の人も行けたらいいのに

子どもの具合が悪かったら少しくらいなら預かれます

地域の人の 声・意見



グループトークでいただいた声、意見を今後の子育て支援事業に活かしていきます。